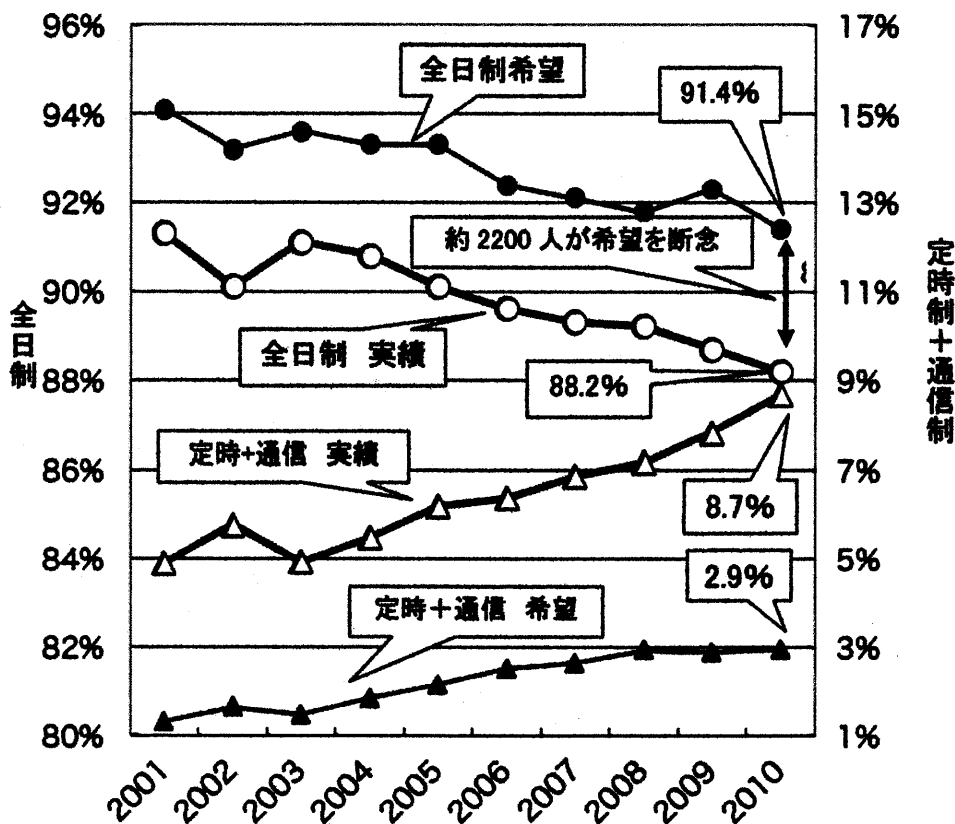


<全日制希望率の低下は、「絶望の結果」……希望（全日制入学）を与える教育制度を>

『進学希望』はつくられる！
 『全日制希望の低下、定時制希望の増加』を果は「進路希望の多様化」というが、
 実際は「全日制をあきらめて、定時・通信を希望」という現実的選択の結果

グラフ. 公立中学卒業者の高校進学率(実績と希望)

(県教委資料より作成)



1997年の92.5%をピークに、神奈川県は全日制高校進学率は10年以上も低下を続け、その結果、毎年10月に行われる中学3年生の進路希望調査での全日制希望率も毎年低下を続けている。

2010年の全日制進学率(実績)の全国平均は93.8%であるが、神奈川では、2010年の全日制進学率は88.2%。さらに希望率さえ全国の実績を下回る91.4%にまで低下している。

<高校再編(2000年~2010年)で、進学率の地域格差(不平等)も拡大している>

【県全体の進学率の状況】

2010年4月……全日制：88.2%、定時制(4.2%) + 通信制(4.5%)：8.7%

1999年4月……全日制：92.0%、定時制(1.9%) + 通信制(2.1%)：4.1%

旧学区毎の状況…旧学区(18学区)ごとの進学率を比較してみると

地域格差の変化	全日制進学率				(定+通)進学率			
	全県平均	最高	最低	その差	全県平均	最高	最低	その差
2010年4月	88.2%	91.4%	84.3%	7.1%	8.7%	12.7%	5.3%	7.4%
2009年4月	88.7%	92.9%	84.5%	8.4%	7.8%	11.4%	4.1%	7.3%
1999年4月	92.0%	95.7%	89.1%	6.6%	4.1%	5.3%	1.7%	3.6%